

杉戸町赤十字奉仕団



結成年月日

昭和52年2月14日

団員数

23名(男性:0名、女性:23名)

令和7年3月31日現在

主な活動

①埼玉の偉人「渋沢栄一」について学ぶ

令和3年11月26日、近代日本経済の父といわれた「渋沢栄一」について学ぼうと、感染対策をして記念館や生誕「中ん家」の見学研修を実施しました。大実業家であった渋沢氏は、福祉事業や教育・民間外交等にも大きな役割を果たしていました。日赤の前身、博愛社時代からの支援者で、現理事にあたる常議員だったこともわかりました。こうした研修活動を年1回程度実施しています。



②災害用アルファ米作り訓練

当町では、小学校単位での地域防災訓練を年1回行っており、ご飯の炊出しを奉仕団が担っています。コロナ前は700食分作り、参加者に配付していました。コロナ後、防災訓練自体が中止となり、実際の炊出しの場がなくなりましたが、有事に備え、団内で訓練を行ないました。50食で1箱のアルファ米作りは混ぜる・分ける作業も大変ですが、楽しく作業できました。



③ポリ袋で簡単防護服作り

新型コロナの感染が拡大している中、何かできることは何か模索していたところ、70ℓのポリ袋で防護服ができると知りました。団員で集まりさっそく試作。初めはそろそろ慣れたらスピードアップ。家庭内感染時の利用はもちろん、町内の高齢者施設へも必要に応じ贈呈を予定しています。時代に沿った活動を、協力し合い楽しくできました。



私たちの団の特徴



私達の活動拠点である「すげとピア」の前に消防署があります。毎年、地元消防署員の指導のもと救急救命法を受講し、特に心肺蘇生のAED使用法を学んでいます。

また、小学校区単位の地域防災訓練に年1回参加しています。そこでは、ご飯の炊出しを行ない、訓練参加者に配付しています。

活動のやりがい



障がい者団体やくらしの会、小中学生親子体験の方々と一緒に、ポリ袋を使ってご飯やおかずの非常食作りを行なっています。日常的にも、また高齢者の一人暮らしの方でも利用できますねと、大変喜んでいただいています。

また、福祉ボランティア団体とともに「いきいきふれあいまつり」を開催しています。当団では災害時の非常食作りを入場者参加型でおこなっており、楽しく交流しています。

みなさんへメッセージ！



「地域の役に立つことがしたい」と考えているあなた。

私たちと一緒にボランティア活動してみませんか？

一緒に活動してくださる方を募集しています！

詳しくは、下記事務局までお問合せください。

お問い合わせ



事務局：杉戸町社会福祉協議会

〒345-0024

北葛飾郡杉戸町堤根4742-1

Tel : 0480-32-7402 Fax : 0480-36-1687